

生活交通確保維持改善計画について

1. 概要

この計画は、生活交通の存続が危機に瀕している地域等において、地域の特性・実情に最適な移動手段として、地域公共交通の確保・維持・改善に関する事業を指し、国がその事業に対して支援をするものである。

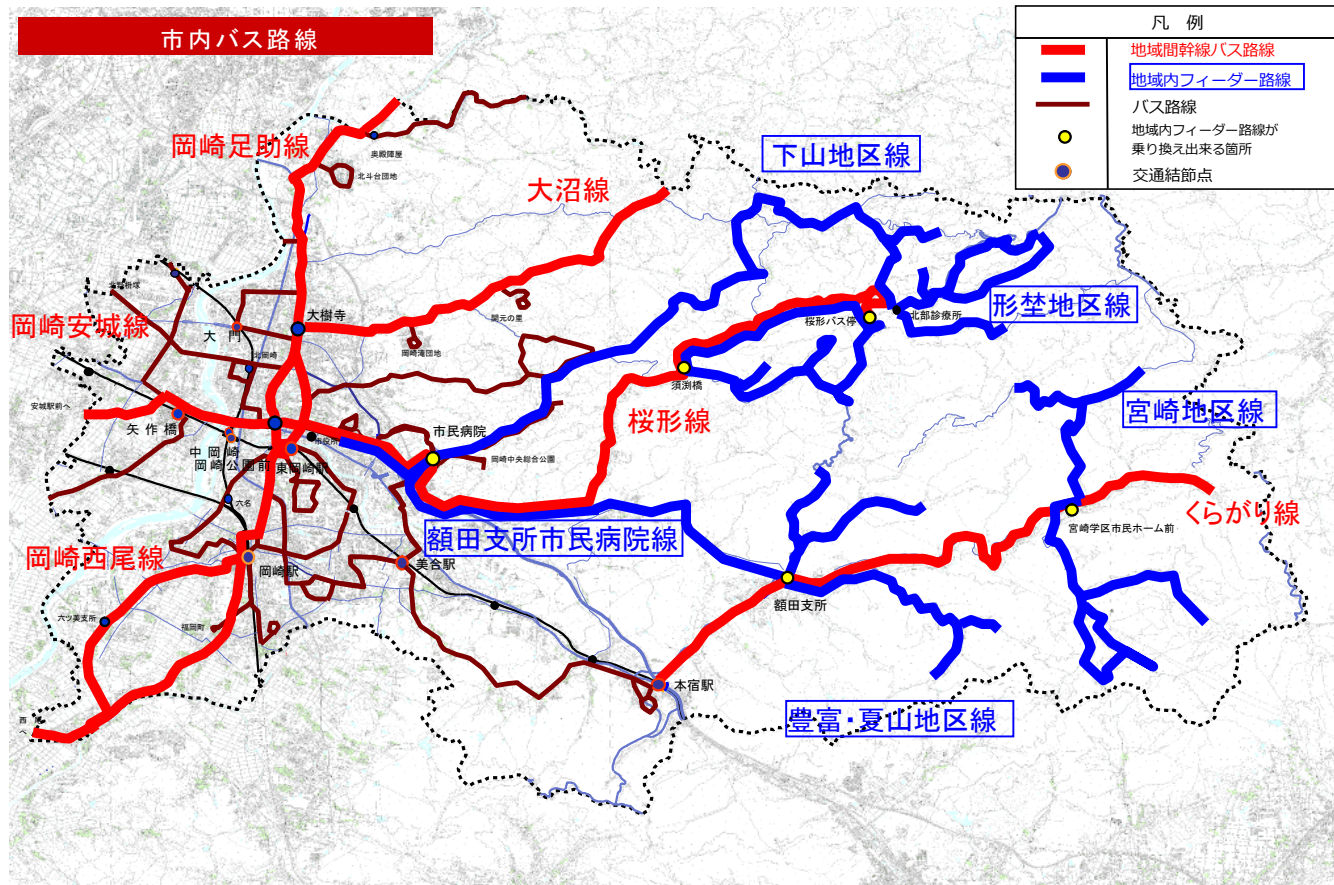
この事業支援には、幹線バス等の地域間交通ネットワークの支援と、当該幹線と接続、または、山村振興法に基づき指定された振興山村（額田地域全域）を沿線に含む地域内のバス交通・デマンド交通の運行についての支援（地域内フィーダー系統補助）があり、本市が策定するのは地域内フィーダー系統にかかる確保維持改善計画である。

2. 対象路線及び補助対象事業

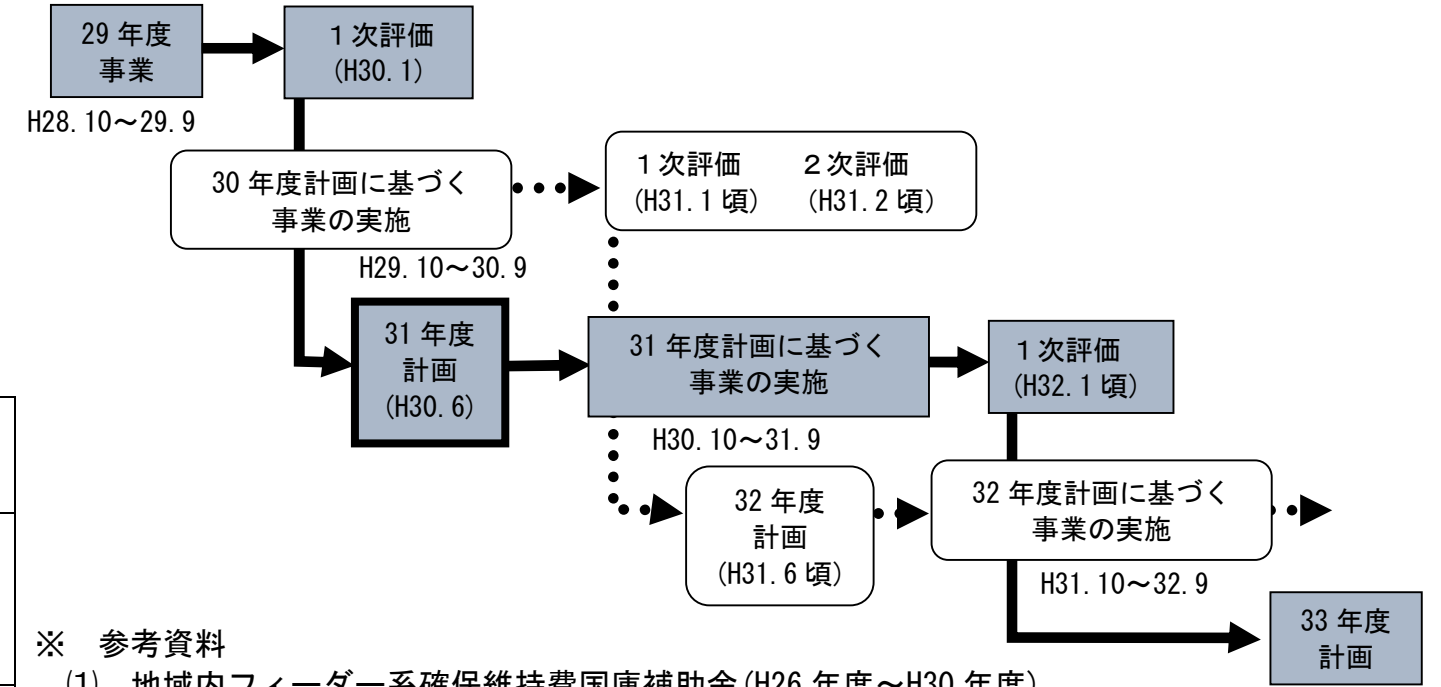
地域公共交通確保維持事業の区分	補助対象事業	補助対象路線	生活交通確保維持改善計画の策定主体
地域間幹線系統確保維持事業	地域をまたがる幹線バス交通ネットワークの確保維持事業	大沼線、岡崎西尾線、岡崎足助線、岡崎安城線（桜形線、くらがり線※1）	県バス対策協議会
地域内フィーダー系統確保維持事業	山村振興法に基づき指定された振興山村（額田地域全域）を沿線に含む地域間交通ネットワークと接続する地域内交通の確保維持事業	額田支所市民病院線、下山地区線、形埜地区線、宮崎地区線、豊富・夏山地区線	岡崎市（岡崎市交通政策会議にて協議）

※1 補助対象の要件から外れる。

【対象路線図】



3. 地域内フィーダー系統確保維持事業の流れ



※ 参考資料

- (1) 地域内フィーダー系確保維持費国庫補助金 (H26年度～H30年度)
- ・ H29年度まで申請上限額の交付額となっている
 - ・ 国庫補助金の申請上限額が減少傾向にある。

路線	(千円)					
	年度	H26年度 交付額	H27年度 交付額	H28年度 交付額	H29年度 交付額	H30年度 申請額
額田支所市民病院線		2,063	2,695	2,085	2,209	1,771
下山地区線		1,367	1,599	1,334	1,325	1,059
形埜地区線		810	646	617	450	506
宮崎地区線		1,868	847	490	173	234
豊富・夏山地区線		468	268	158	91	61
合計		6,576	6,055	4,684	4,248	3,631
申請上限額		6,576	6,055	4,684	4,248	3,631

(2) 29年度事業の1次評価（自己評価）及び2次評価（第三者評価委員会）における課題及び対応方針

課題

- ・ 運行の見直しを実施したにも関わらず利用者、利用率の目標が未達成の路線があった。
- ・ 地域間交通の維持確保策も重要課題とし並行して対応する必要がある。
- ・ 利用者数が減少傾向にある中山間部において効率的で効果的な路線再編と利用促進の推進が必要。
- ・ 近隣市町との連携による広域的な公共交通ネットワークの構築が必要。

対応方針

- ・ コミュニティバスの利用状況に関するチラシの配布に加え、地区のイベントなど住民が集まる機会を捉え、バス利用案内等を行う。見直し後、利便性が実際に向上しているかどうかを検証する。
- ・ フィーダー路線との乗換え利便性の向上や地域間交通の利用周知を図って行く。
- ・ フィーダー路線や地域間交通について、地域のニーズにあった新たな運行形態や路線の役割の整理等、効率的で効果的な路線を地域住民と一緒に検討するとともに、利用促進の推進に取り組んでいく。
- ・ 近隣市との連携を強化し、公共交通ネットワークの相互連携、機能強化等の研究を進める。